

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月 14日

事業所名 マザーズ春江

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		コンプライアンス委員会を設置しており人員配置を含め法令遵守に則り運営をしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		朝礼、終礼を毎日実施しており、必要に応じ会議を行い意見を出し合い実行、検討を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年一回実施。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後実施を検討している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎日勉強会を実施。また年間計画に基づき社内研修を実施し、外部の様々な研修にも参加している。	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		契約時、また個別支援計画更新時に実施。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		現在資格等で実施できる者がいない。可能になれば実施していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		感覚統合、ライフスキル、工作と委員会を設置して実施。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎月予定表を出しており、毎日違うプログラムを実施。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇時には外出も行いライフスキルの活動にも取り入れている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		集団活動の中にも個性に応じグループを分けて行うなど工夫をしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼を実施しその日のプログラム、利用者の確認を行っている。	

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼を行い情報共有を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別支援計画に基づいて記録を行っており、記録の不備がないよう確認も行っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月以内に1回は行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者が参加しており、必要に応じ児童の担当者、教室長も一緒に参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		送迎時に学校の先生と情報共有を行っており、必要に応じ電話などで連絡を取っている。	
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		事例がないが、必要に応じ参加していく。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		事例がないが、必要に応じ参加していく。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		事例がないが、必要に応じ参加していく。
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		地域にとって開けた事業所である為に今後コロナ感染状況を踏まえつつ、利用者様のご意見も参考にし実施していく。
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○		坂井地区主催の協議会に参加している。	
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や連絡帳アプリを使用して情報を共有している。	
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		2023年2月18日に集団でペアレント・トレーニングを開催している。	

保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に実施している。	
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時をはじめ、電話や連絡帳アプリを使用し行っており、必要に応じ面談も実施している。	
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		ウォークラリーやペアレントトレーニングにて保護者同士の関わりを持てるようにしている。	
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった際には随時対応しており、迅速に行動できるよう勉強会にも対応方法を話し合っている。	
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		マザーズ新聞を年2回発刊。	
	34	個人情報に十分注意している	○		個人情報が入っているタブレットには毎日施錠している。	
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
非常時等の対応	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		マザーズウォークラリーでは児童の美術展を開催し一般の方も閲覧できるようにしていた。	
	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		契約時にマニュアル集を配布	
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		非常災害マニュアルを作成しており、マニュアルに則り非常用持ち出し袋の準備や、訓練を行っている。	
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		権利擁護、虐待防止研修に積極的に参加しており、全社で外部のメンタルヘルス研修を受けている。	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		年1回研修を実施しており職員同士共通理解を深めている。現在実施例はなし。	
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		該当児童なし。必要に応じ保護者や医師からの情報を共有する。	
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所内での再発防止は勿論、全社で再発防止のために全社で共有を行っている。	